



世界自然遺産のまち



知床・羅臼町

企業版ふるさと納税 ご提案資料（令和7年度）

知床・羅臼町について P1 ~ P5

知床・羅臼町の課題と取組 P6 ~ P10

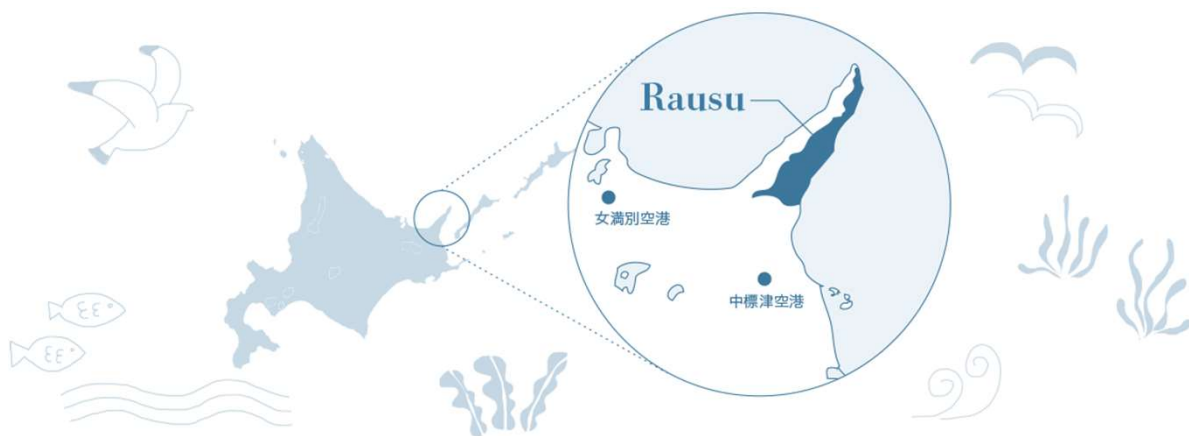
企業版ふるさと納税について P11 ~ P13

企業版ふるさと納税の活用例 P14 ~ P15

知床・羅臼町について

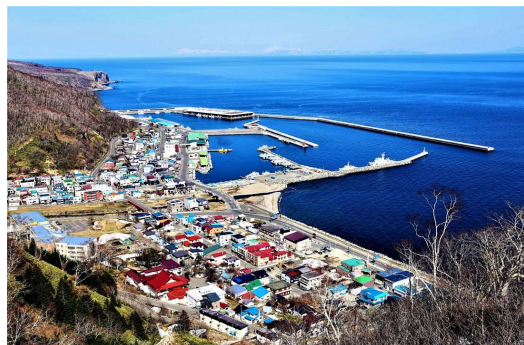
北海道最北東端、知床世界自然遺産を有する町「^{らうす}羅臼町」。

豊かな自然環境と、その恵みに支えられた「漁業のまち」として知られています。



写真で見る知床・羅臼町

2



市街地と羅臼漁港



知床らうす産業祭「羅来楽（ららら）」



知床峠山頂



知床連山と流水



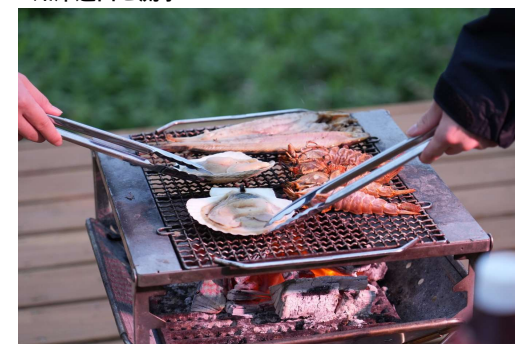
刺し網漁



サケ漁



知床羅臼ビジターセンター



海産物のBBQ



野生のヒグマ



シャチのダイブ



サケマスの遡上



羅臼昆布



羅臼町の取り組み

羅臼町では**4,188人**※1が暮らしており、以下の**4分野でさまざまな取り組み**が行われています。

※1：2025年3月末現在



産業

羅臼昆布・エゾバウブンウニ、ホッケ、ブリ等々、
令和5年度 水揚げ額90億円



観光

シャチやマッコウクジラなど大型鯨類が観光船で見る等々を目的とした
年50万人以上の観光客入込数※2、**約4万人の宿泊者数**

※2：コロナ禍は半減

スノーピークとキャンプ場運営等に関する包括連携協定※3
TaMa-Tec（株）などが新たな宿泊施設建設を発表※4

※3：令和3年度、※4：令和6年度



自然

平成17年に「**知床**」が日本に五カ所のみ存在する**世界自然遺産登録**

羅臼町ゼロカーボンシティ宣言※5

※5：令和3年度に宣言。2030年にCO2排出量68%削減、2050年カーボンニュートラルを目指す。



教育

海洋教育・水産教室、クマ学習・生態系学習、郷土の歴史等々を学ぶ
地域学「知床学」※6を柱に**中高一貫教育を推進**

※6：主な事業：ふるさと少年探険隊、知床kids、羅臼高校水産教室などふるさとを学ぶ事業を展開

羅臼町の資源（海洋深層水／温泉）

羅臼漁港で海洋深層水の取水施設を整備し、
海産物の衛生管理と鮮度保持に活用しています。



飲料水、塩、食品、化粧品等にも活用されています。
更なる利活用のアイデアを募集しています。

温泉井戸を掘削し、宿泊施設での利用に加えて、
公共施設での暖房等に活用しています。



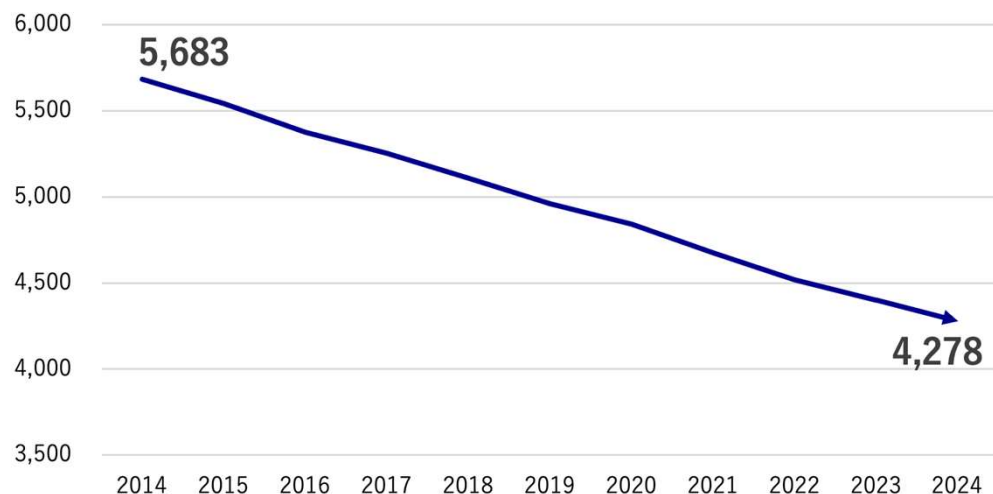
地熱発電や温泉熱の更なる利用拡大などを目指しており、ご賛同・ご協力をお願いします。

知床・羅臼町の課題①

基幹産業である漁業の低迷により、水産業をはじめ既存産業の事業縮小など経済の冷え込みが続き、事業者・求職者問わず当町での生活に先行きが見通せないため、町外に活路を求める人たちも多く、より一層、少子高齢化が進行する状況に陥っています。

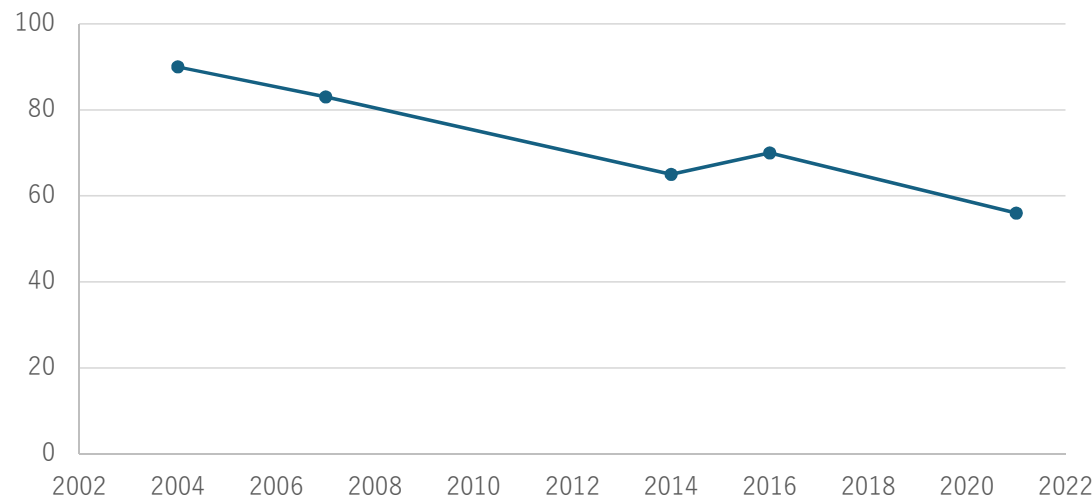
人口の流出は将来のまちづくり人材の消失でもあり、地域の不活性化により町民サービスの低下、当町に未来を託す転入者も減少しています。

羅臼町 総人口の推移



2014年5,683人 → 2024年4,278人
この10年間で1,405人減

羅臼町 商店数の推移



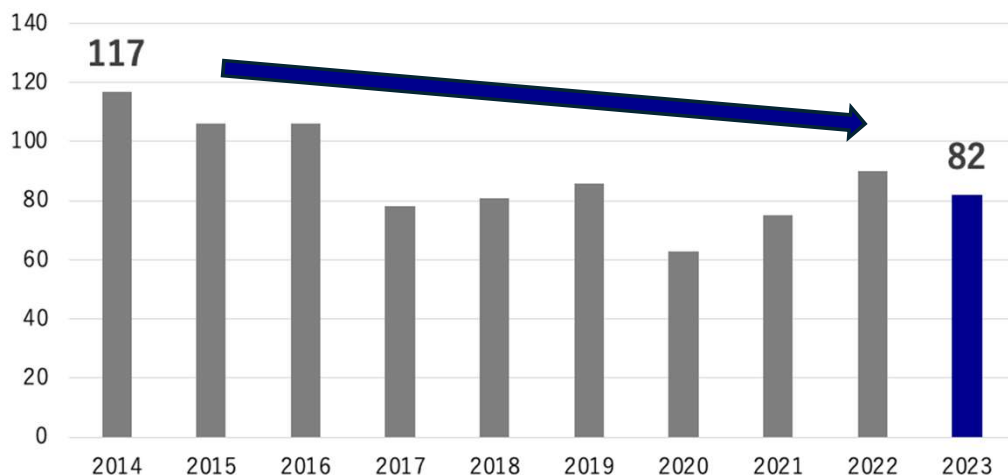
2004年90店 → 2021年56店
この17年間で34店減

知床・羅臼町の課題②

羅臼の海は、狭い海域に浅海～深海があるという特徴があり、豊かな海産物に恵まれています。一方で、近年は水揚げの落ち込み、海水温上昇などの課題があるため、**加工をはじめとした高付加価値化、陸上養殖や未利用魚の活用など、基幹産業の発展に向けた取り組み**が必要です。

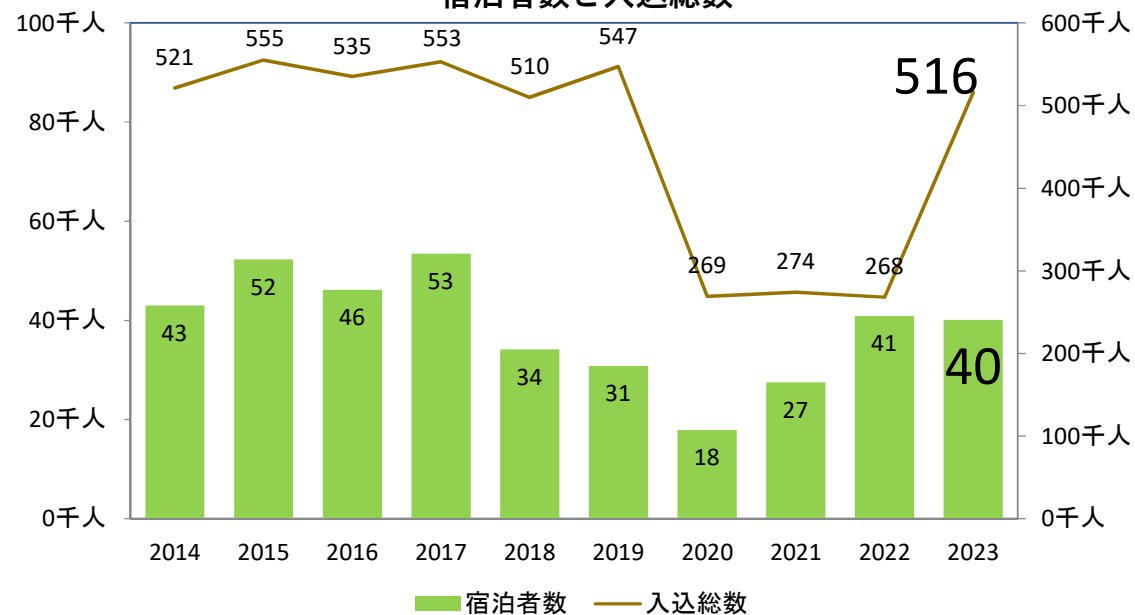
また、世界自然遺産の自然環境や豊かな海産物といった地域資源がありながらも、観光については、道の駅周辺を中心とした通過型にとどまり、魅力を十分に発信できていません。

羅臼町 主要魚種の水揚げの推移



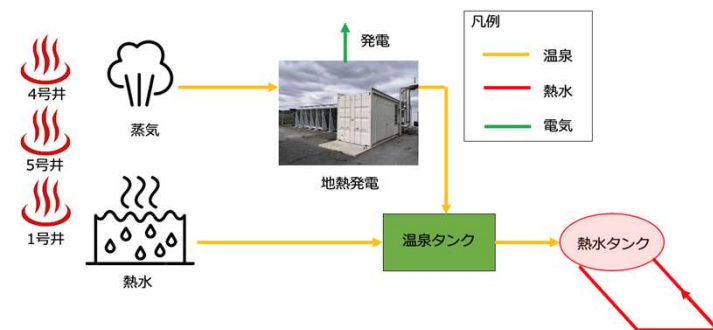
1990年の253億円を境に急激に落ち込み
海水温上昇によりブリやサバなどが水揚げ

宿泊者数と入込総数



宿泊者数は入込総数の1/10程度に留まる

既存井戸を活用した地熱発電の導入や温泉熱の利用拡大により、産業振興や地域内経済循環、魅力ある地域づくりなどを進めていきます。



- ・ 熱水送水管を新設し、地域内で循環。
- ・ 循環させることにより、熱資源の更なる有効活用が可能。
(現状の5倍程度と想定)
- ・ 適正な料金設定をしたうえで、一般家庭や産業等でも利用。
- ・ 熱水とすることにより、熱水交換機やポンプ等の設備の長寿命化を図る。

観光への取り組み

インバウンド旅行者等の受け入れ環境を整備することにより、雇用の創出をはじめとした地域課題の解決につなげていきます。

<観光拠点のイメージ>

先端部方面

- ✓ アクティビティ、飲食店、カフェ等の複合拠点
- ✓ 昆布番屋や相泊温泉の活用

本町通り

- ✓ ドミトリー、カフェ、ショップ、飲食店、炉端等の複合拠点
- ✓ 道の駅との連携、海産物の高付加価値化

オートキャンプ場

- ✓ アスレチック、コワーキングスペース、飲食店等の複合拠点
- ✓ キャンプ場との連携、町民との交流



現在、ノウハウやネットワークを有するとともに、中長期的に羅臼町と共同で取り組む意志があるパートナー事業者を公募中



今後、パートナー事業者の提案を踏まえ、具体的な構想を検討
パートナー事業者とともに「まちづくり会社」等を設立し、具体的な事業を推進

既存施設の有効活用

2025年度に閉校予定の小学校校舎を活用し、地域の賑わいの拠点となるような再整備を検討しています。

近年、利用者が増加しているオートキャンプ場について、更なる魅力の向上や新たなサービスの提供などを検討しています。



2025年度中に
閉校予定の小学校



魅力向上などを検討中
のキャンプ場



企業版ふるさと納税とは

羅臼町では、「羅臼町総合戦略推進計画」について企業版ふるさと納税制度を活用した寄附を募集しています。

いただいた寄附金は、羅臼町総合戦略推進計画に則り「産業の振興」「移住・定住の推進」「結婚・出産・子育ての環境整備」「知床羅臼みらいづくりの推進」の4つの視点で進める町の人口減少対策に活用させていただきます。

【戦略の基本となる SDGs 項目】



税額控除のイメージ

※国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合、法人関係税から税額控除する仕組みです。最大で寄附額の約9割が軽減されます。



第2期 羅臼町総合戦略の概要

（１）若い世代が安心して働ける魅力ある**産業の振興**事業

- ✓ 地域経済を支える漁業の推進
- ✓ 既存産業の支援と新規産業の創出（観光分野も含めた企業誘致と新企業の参入による雇用の創出を含む）

（２）知床羅臼町の魅力を活かした**移住、定住の推進**事業

- ✓ 交流人口拡大事業
- ✓ 移住・定住対策の推進

（３）**結婚・出産・子育て**をしやすい環境と未来を担う**子どもたちの教育環境**の整備事業

- ✓ 結婚・出産・子育てに対する支援
- ✓ 魅力ある教育環境の整備と時代を担う子ども達への支援

（４）若い世代が主体となった**知床羅臼みらいづくり**の推進事業

- ✓ まちづくり活動の支援
- ✓ 社会基盤整備（ゼロカーボンシティの推進を含む）

寄付についての留意事項

- ・ 1 回当たり 1 0 万円以上の寄附が対象です。
- ・ 寄附企業への経済的な見返りは禁止されています。

OK	寄附企業に対して、町から感謝状等を贈呈すること
OK	町のホームページや広報紙等に、寄附を活用して実施している事業の紹介に併せて、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること
OK	寄附を活用して整備した町の施設等に銘板等を設置し、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること
NG	寄附を理由として、町から補助金を交付すること
NG	寄附を理由として、町から他の法人の場合より低い金利での貸付けを行うこと

- ・ 本社が羅臼町に所在する法人の寄附は、本制度の対象となりません。

寄付活用の事例①

（１）若い世代が安心して働ける魅力ある産業の振興事業【産業の振興】

スノーピーク監修の下、羅臼町民が手作業で創った特別なアウトドア施設である「知床羅臼野遊びフィールド」において、宿泊される方々の満足度を更に向上させ、施設の魅力を高めるため、トイレやシャワーの整備を行いました。

（令和 6 年度）



寄付活用の事例②

（２）知床羅臼町の魅力を活かした移住、定住の推進事業【移住・定住の推進】

羅臼町の魅力ある環境を多くの方に知っていただき、移住・定住を推進するため、首都圏などで開催された移住イベントに出席し、知床・羅臼町の魅力をPRしたほか、「ちょっと暮らし住宅」を活用した就業体験付きの移住モニターの受け入れを行いました。（令和６年度）



